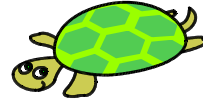


## 子どものすることにもわけがある

6月中旬のある朝、低学年玄関前の階段でYさんと会い、いつもどおり挨拶を交わした。ふと見ると手に小石を

持っていた。校舎内に持ち込まれると何かのトラブルの原因になるかもと、とっさに、「校舎の中に石を持ち込んだらダメだよ」と言ったが、いつも素直なYさんから「はい」という返事はなかった。一瞬、「あれっ?」と思い、「その石、どうするの?」と聞き直した。Y君は、「お友だちの家に入れる」と答えた。



2年生教室は、生活科（「いきものを育てよう」）の学習で、カタツムリ、カメ、カブトの幼虫、オタマジャクシ、アカハラ（イモリ）、カエル、、、さながら生き物ランドであることを思い出し、「ああ、飼育ケースに入れるんだね」と言うと、「うん、島にするの」と答えが返ってきた。

小さい子の突拍子もない行動にハラハラすることはありますが、必要以上に危険を危惧するばかりに、頭ごなしで、「ダメ出し」するのは、それこそ、子どもからダメ出しされることです。本当に危険なことは、毅然と、させないことが大切です。しかし、「子どものすることにもわけがある」ということを頭に置き、子どもの成長や可能性に水を差さないようにしなければ！と感じた出来事でした。